

DATA FILE



単斜晶系

名前	NEPHRITE (ネフライト) / 軟玉
化学組成	$\text{Ca}_2(\text{Mg,Fe})_5\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$
色	緑色、クリーム色、白色など
光沢	脂肪光沢、ガラス光沢
蛍光	帯白色 (一部)
条痕	白色
劈開	完全
断口	貝殻状
硬度	6
比重	3.1

※データファイルでは、角閃石の一種である緑閃石のデータを掲載しています。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

角閃石から成る宝石の一種で、繊維状の微細な結晶が緻密にからみ合っている。

蛍光を示すことは稀だが、帯白色の蛍光を示すものもある。

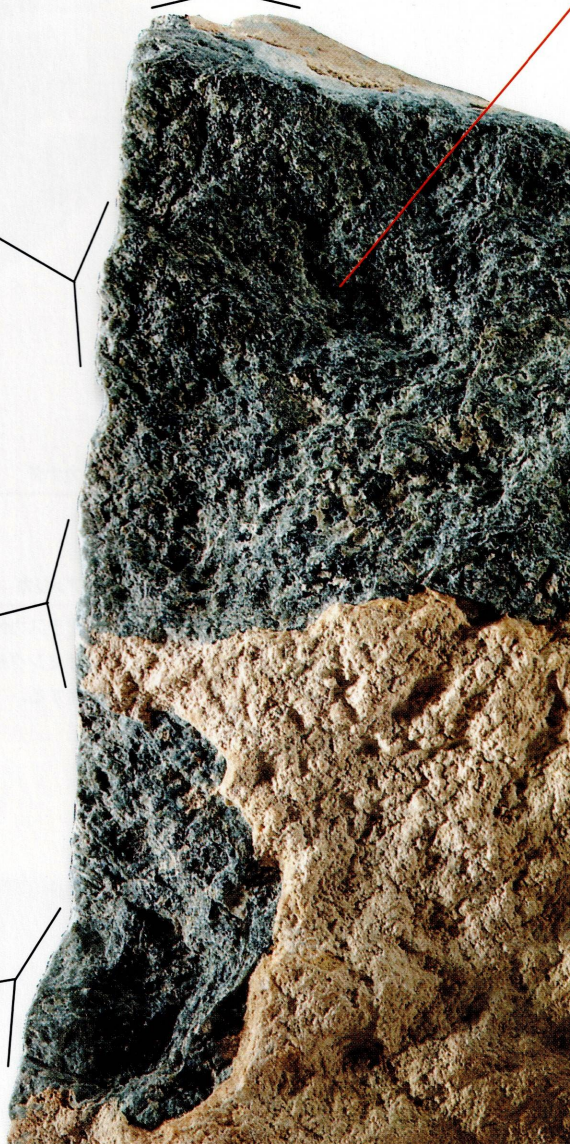
劈開は完全で、ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。

アメリカのカリフォルニア州で産出した軟玉。

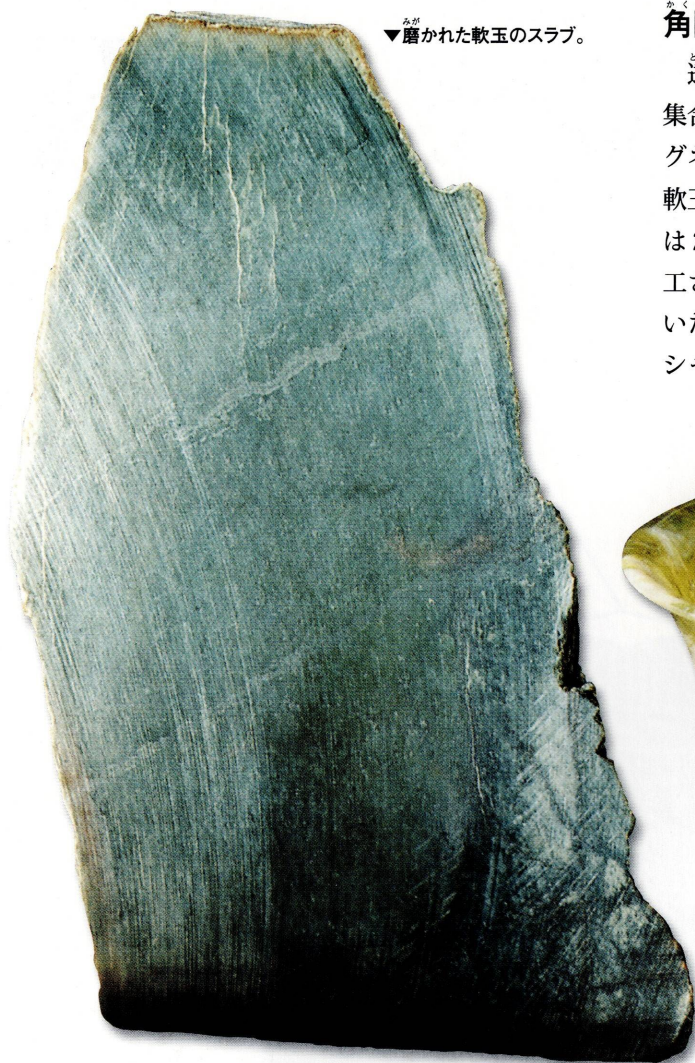
脂肪光沢やガラス光沢を持つ。

軟玉 NEPHRITE

ナ



ナ 軟玉



▼磨かれた軟玉のスラブ。

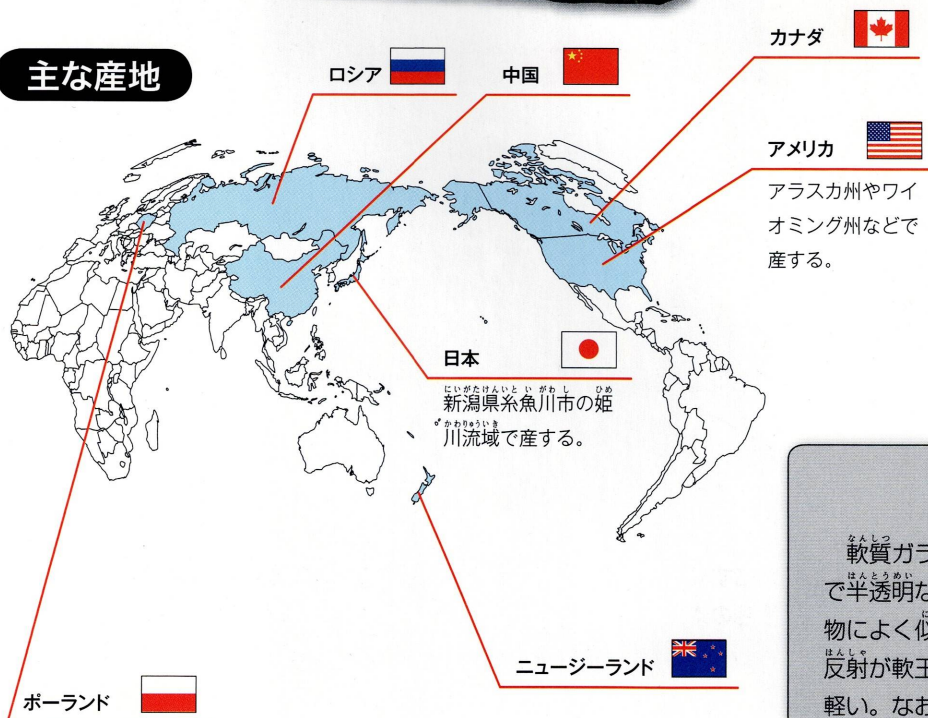
角閃石の緻密な集合体

透閃石や緑閃石などを含む角閃石からできた繊維状結晶の緻密な集合体の軟玉は、鉄を多く含有しているものは緑色が濃くなり、マグネシウムが多く含まれているものはクリーム色または白色になる。軟玉は耐久性が強く丈夫であるため、良質な鉱床が存在する中国では2000年以上前から「玉」と呼ばれさまざまな工芸や装飾品に加工されてきた。また、中世の時代には軟玉が腎臓病の薬に使われていたことから、英名の「ネフライト」は「腎臓」を意味するギリシャ語を語源としている。



▲軟玉でつくられた器。

主な産地



▲カボション・カットが施された軟玉。

軟玉の模造品

軟質ガラスを再結晶させることにより、フェルト状で半透明な軟玉の模造品を作ることが可能。外見が本物によく似ているこの模造品は、差し込んでくる光の反射が軟玉よりも少ないために輝きが少なく、比重も軽い。なお、軟質ガラスの他にもアベンチュリン・クォーツやベスブ石から模造品がつくられることもある。